

# 郡山城(本城)

《吉田町吉田》

シリーズ「お城拝見!」第六十一回

安芸高田市歴史民俗博物館  
学芸員 秋本哲治

【登城ガイド】  
標高/292m、比高/90m  
史跡指定/国指定史跡  
城主/毛利氏  
所要時間/郡山公園から徒歩30分



郡山本城略測図(作図 秋本哲治)

### 立地

郡山東南の尾根上、吉田保育所の裏山にあります。それほど比高はありませんが、南北両側ともに非常に急峻です。人や物資が行き交った東側に流れる可愛川に突き出しており、この川を監視する役割があったようです。

### 歴史

築城時期は不明ですが、15世紀中頃には毛利氏の当初の郡山城として存在したと考えられています。その後、16世紀半ばに元就が郡山全山に城域を拡大したのちは、当主の隆元が住んだことや、「二重・中・固屋」という狭い空間があったことが史料上から知られています。

### 城跡

最頂部のIを中心に300mにわたる東方向に郭が伸びており、城域の両端には堀切が残ります。また更に東に数力所の平坦地があり、ここも城内であった可能性があります。Iの背後には櫓台状の土壘があり、また北東隅には石積の痕跡もあります。隆元がいた屋敷地と考えられるのはこのIとIIあたりで、IIIより東は幅が狭い上に、地面が不整形です。

### 考察

当時の山麓から本城へのルートは不明ですが、北側の難波谷から通路がありました。それほど軍事性の高い構造ではありませんが、当主の居城として少なくとも16世紀半ばまで使用されており、15世紀の姿を留めているとは言いつれませんが。



Iと櫓台状の土壘(南側より撮影)



本城遠望(東側より撮影)

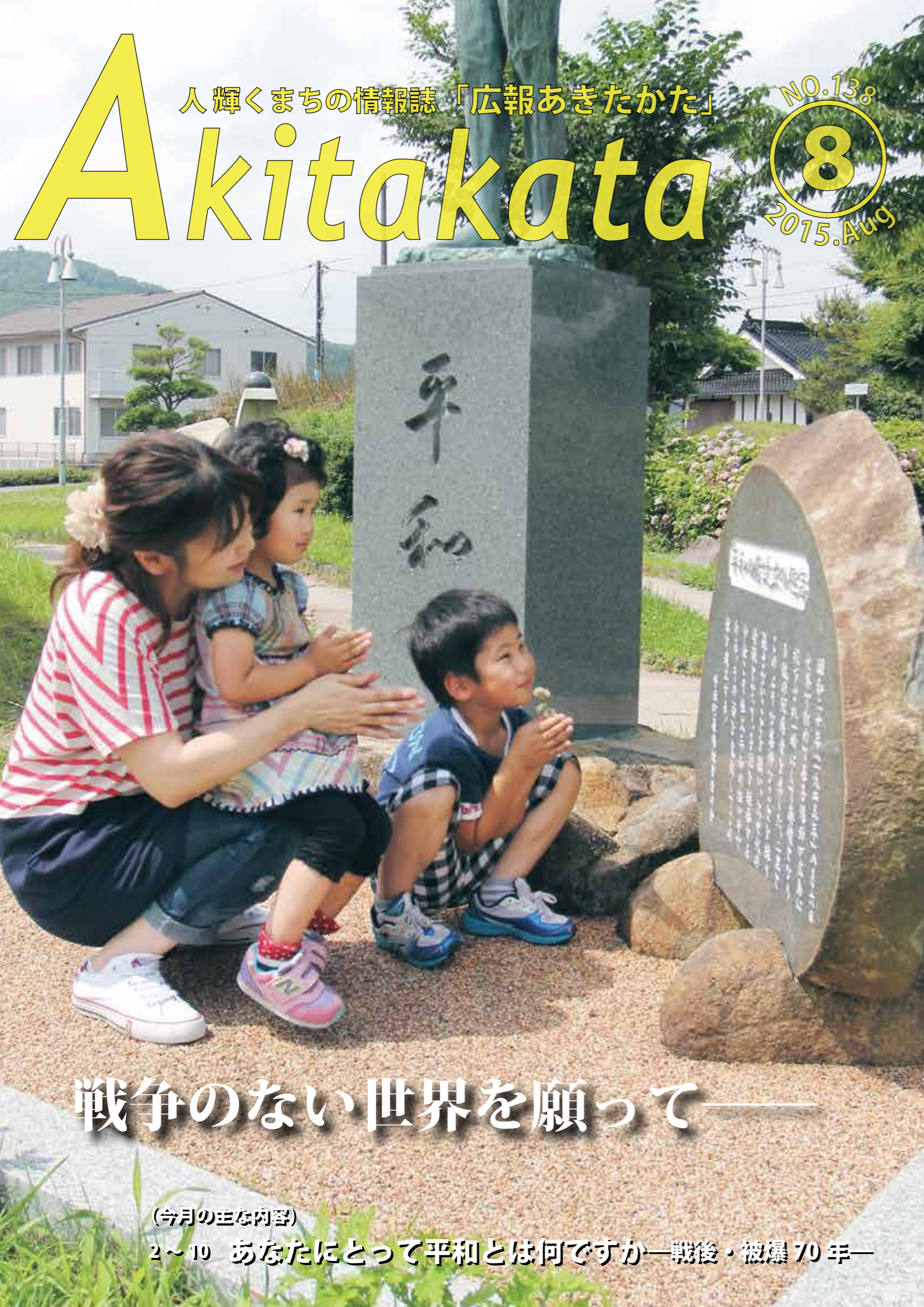
### 編集後記

今月号では「平和」について特集をしました。当時を知る人も少なくなりつつあります。語り継ぐためにはこれからが正念場と感じました。ボクにとって平和とは、抽象的ですけど「楽しい食卓」をイメージしました。何気ない会話が飛び交う家族が揃う食卓。皆さんも特集を機会に考えみて下さい。  
(原田)

私にとっての「平和」とは、「戦争のない世界」です。毎日しっかりと飯を食べて、安心して眠ることができて、自分の周囲にいる人たちと何となしに過ごせる日常が、幸せなことなのだと思います。  
(田村)

### 今月の表紙

今年には戦後・被爆70年。甲田文化センターミューズ前にある平和の像の前で、新宅恵美さん(甲田町)と長男の虎太郎さんと長女のごこ美ちゃんが、平和を願って手を合わせています。



## 戦争のない世界を願って——

(今月の主な内容)

2~10 あなたにとって平和とは何ですか—戦後・被爆70年—

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5612 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/

NO.138  
8  
2015.Aug

# Akitakata

人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」